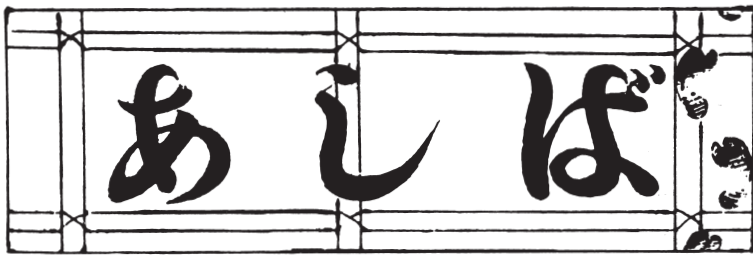


以下の日程は組合事務所の通常業務をおこないませんのでご注意ください

書記局会議：8月 1日(木)

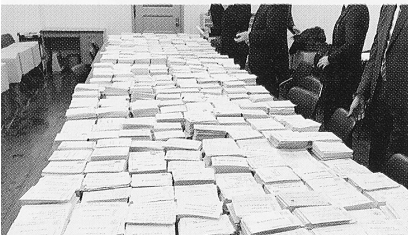
夏季休業：8月16日(金)

小金井平和盆踊り：
8月23日(金) 午後～

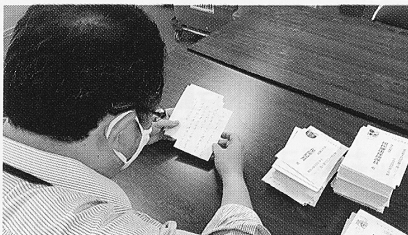


第536号

発行所
東京土建一般労働組合
小金井国分寺支部
国分寺市東恋ヶ窪 2-36-32
電話 042-324-5940
発行責任者
中川 和美

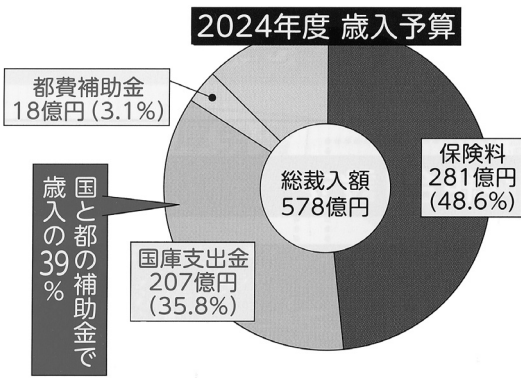


財務省 積みあがったハガキの山



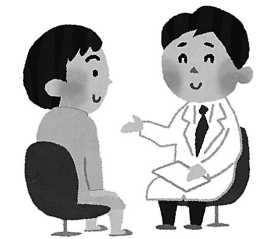
厚労省ハガキに1枚1枚目を通す職員

命の綱 土建国保を守り育てる 誰でもできる予算獲得の運動 ～ハガキ要請は大きな力に～



寺支部の20

健康診断は平日でも希望の医療機関(2024年度国保ガイド参照)で予約できます。また、11月には日曜健康診断を再び行いますので、多くの組合員・家族のみなさんの受診をお願いします。



健康診断結果で、**脂質(血糖)**の数値が高い方には、約3ヶ月後に東京土建国保が契約した実施会社

建設国保の財源は、事業所からの保険料負担(原則折半)はなく、加入者本人の保険料と補助金で成り立っています。そのため国からの補助金はとても重要です。

6月23日(日)につるかめクリニックとひかり診療所で実施した日曜健診は、156人が受診しました。健康診断受診は組合員と家族の健康を守ることが最大の目的ですが、40歳以上の健康診断(特定健診)の受診率が70%以上に到達しないと国の補助金が減額される仕組みとなっています。

23年度の特定健診受診率は50・6%(組合員56・4%、家族35・1%)でした。家族のみなさんの受診が少ない状況ですので、各分会で受診呼びかけをお願いします。

健康診断は平日でも希望の医療機関(2024年度国保ガイド参照)で予約できます。また、11月には日曜健康診断を再び行いますので、多くの組合員・家族のみなさんの受診をお願いします。

組合員も家族も受けよう健康診断

メタボに該当したら特定保健指導

土建国保に入っている人も入っていない人も、家族のみなさんも健康保険をもつ

すべての人に関わる、誰でもできるハガキ要請運動にご協力をお願いします。

土建国保に入っている人も入っていない人も、家族のみなさんも健康保険をもつ

第51回小金井平和盆踊り

この催しは、ベトナム戦争の悲惨な状況をきっかけに、戦争の無い世の中をめざすことをうったえ、市民が平和を語り合うことを目的に、小金井市内の民主団体・市民団体・政治団体・労働組合が1970年から行っています。

ぜひ、ご家族、お友達お誘いあわせのうえ、会場に足を運んでください。

2024年8月23日(金) 午後5時半～8時半
8月24日(土) 午後5時～8時

会場：小金井市営グランド



東京土建はダーツ、輪投げ、射的



複数の家族の参加で大いに盛り上がったさくらんぼ狩りツアー

今年参加してくれたみなさんを重要な対象者として確認し、今後とも声掛けを行っていきます。

さくらんぼ狩りバスツアー

初参加の
家族連れ多数

6月9日(日)に開催したさくらんぼ狩りバスツアーは、80人の仲間が参加しました。その中でも、前原町分会からは、1歳半の子どもを連れての初参加があり、直属事業所からも2家族が初めて参加しました。また、東小金井分会からは、いちご狩りに続いて後継者世代の家族が参加しました。女性の会拡大の面からみると、組合員拡大が1人、

1962年英国から独立したジャマイカは、政情が安定せず1977年政治緊張が頂点に達し、ボブ自身も狙撃され亡命を余儀なくされました。1978年に舞い戻り「ワンラブ・ピース・コンサート」に出演。二大政党の党首をステージに招き和解の握手をさせました。ラストファリズム運動の思想をベースにしている「ワンラブ」愛を生み出す心は一つ。みんなでまとまれ

▼降り始めの雨の匂いのことをベトリコール「石のエッセンス」というそうで、大地に溜まったある種の植物油が雨に打たれて拡散し、大気中に漂う匂いとの事。雨上がりにはグオスミン「大地の臭い」カビ臭の原因物質。細菌や微生物の働きによって生じるもの。みなさんは感じたことありますか?▼ボブマリーは「雨を感じられる人間もいるし、ただ濡れるだけの奴らもいる」と悠然と地球を感じているというか、日常的に向き合っていたのかと思えます▼ジャマイカといえばラストファリズム。その哲学は物質主義や抑圧的な態勢への批判が含まれ、運動は地球との調和に生き、自然との深い繋がりを強調しています▼ボブが気持ち良く揺られているだけのように見えるレゲエで、非常に強力な規律文化の中、政治抑圧、日常の貧困を音楽で発信しています▼

朝顔

